

エチプロール水和剤 キラップフロアブル	取扱メーカー： クミカ [*] 、バイエル、北興、 ホクサン 原体メーカー： バイエル
成分： エチプロール〔フェニルピラゾール系 PRTR・2種〕…10.0%	性状： 類白色水和性粘稠懸濁液体 毒性： 普通物 消防法： —

【品目特性】

- キラップ粉剤 DL の項参照。
- りんごの最重要害虫であるモモシンクイガ、キンモンホソガ、アブラムシ類に優れた効果を示す。
- 茶の新芽、新葉を加害するチャノキイロアザミウマに優れた効果を示す。
- フロアブル剤なので作物の汚れが少ない。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】

- 稲のアカヒゲホソミドリカスミカメ主体の場合、出穂の7～10日後及び1回目散布の7～10日後が散布適期である。
- 稲のオオトゲシラホシ、シラホシカメムシなどが主体の場合、穂揃期及び1回目散布の7～10日後が散布適期である。
- りんごのモモシンクイガ幼虫の食入防止とアブラムシ類の防除は6月中旬、モモシンクイガ、キンモンホソガの同時防除は7月中～下旬が散布適期である。
- 茶のチャノキイロアザミウマには二番茶芽萌芽期から生育期、三番茶芽萌芽期から生育期、秋芽生育期が散布適期である。

【薬効・薬害等の注意】

- 適用作物（かんきつ）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】

- 空中散布及び無人ヘリコプター散布の際は、共通注意事項の2. 空中散布及び無人航空機（無人ヘリコプター等）による散布・滴下に関する注意事項を参照。
- 共通注意事項7. ミツバチに対する注意事項を参照。



【適用と使用方法】

作物名	適用場所	適用害虫名	希釈 倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	エチプロールを含む 農薬の総使用回数	
稲 (箱育苗)	—	イネドロオイムシ	100～ 200 倍	育苗箱 (30×60× 3 cm, 使 用土壌約 5 ℓ) 1 箱 当り 0.5 ℓ	移植3日 前～移植 当日	1 回	灌注	2 回以内 (移植時ま での処理は 1 回以内)	
稲		ウンカ類 カメムシ類 イネドロオイムシ	500 倍	25 ℓ	14 日前 まで	2 回 以内	散布	2 回以内 (は種時(直 播)又は移 植時までの 処理は1回 以内)	
		イナゴ類 イネドロオイムシ	2000 倍	60～ 200 ℓ					空中散布
		ウンカ類 カメムシ類	1000～ 2000 倍						
		イネドロオイムシ	8～ 16 倍	7 日前 まで	無人ヘリコプタ ーによる散布				
		イネドロオイムシ	16 倍						
だ い ず		カメムシ類	2000 倍	100～ 300 ℓ				2 回以内	
えだまめ		チャノキイロアザミウマ アブラムシ類	1000～ 2000 倍	21 日前 まで	散布				
かんきつ		カネタタキ	2000 倍				14 日前 まで		
り ん ご		アブラムシ類	1000～ 4000 倍	200～ 700 ℓ					7 日前 まで
		モモシンクイガ キンモンホソガ ギンモンハモグリガ	1000～ 2000 倍						
		か き	カメムシ類 アザミウマ類						
茶		チャノキイロアザミウマ ツマグロアオカスカメ チャノホソガ	2000 倍	200～ 400 ℓ	摘採 7 日前 まで	1 回	1 回		
水田作物、 畑 作 物 (休耕田)		ヨシ、オギ、ススキ、セイタカアワダチソウ等の多年生雑草が優占している休耕田		カメムシ類	60～ 200 ℓ	—	2 回 以内	2 回以内	
マンゴー		—		チャノキイロアザミウマ	200～ 700 ℓ	7 日前 まで			